

# 確率(3)

【1】1個のさいころを投げるとき、次の確率を求めなさい。

(1) 偶数の目が出る確率

起こりうるすべての場合は6通り。偶数の目が出る場合は3通りなので、確率は  $\frac{3}{6} = \frac{1}{2}$

(2) 2以下の目が出る確率

2以下の目が出る場合は1, 2の2通りなので、確率は  $\frac{2}{6} = \frac{1}{3}$

(3) 6の約数の目が出る確率

6の約数の目が出る場合は1, 2, 3, 6の4通りなので、確率は  $\frac{4}{6} = \frac{2}{3}$

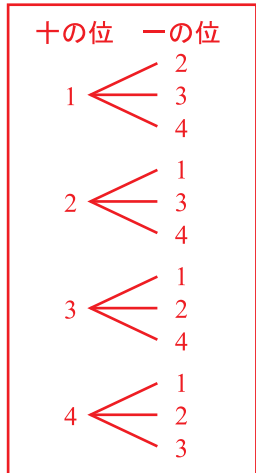
答え(1)  $\frac{1}{2}$  (2)  $\frac{1}{3}$  (3)  $\frac{2}{3}$

【2】1, 2, 3, 4の数字が1つずつ書かれた4枚のカードがある。

このカードを続けて2枚引き、はじめに引いたカードを十の位、

次に引いたカードを一の位として2桁の整数をつくる。

次の確率を求めなさい。ただし引いたカードは元に戻さないものとする。



(1) できた整数が奇数になる確率

すべての場合の数は12通り。

できた整数が奇数になる場合は6通りなので、確率は  $\frac{6}{12} = \frac{1}{2}$

(2) できた整数が4の倍数になる確率

できた整数が4の倍数になる場合は12, 24, 32の3通りなので、確率は  $\frac{3}{12} = \frac{1}{4}$

答え(1)  $\frac{1}{2}$  (2)  $\frac{1}{4}$

【3】赤球を2個、青球を3個入れた袋から、同時に2個の球を取り出すとき、

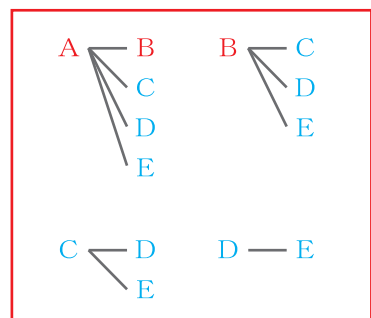
次の確率を求めなさい。

(1) 赤球が1個、青球が1個出る確率

赤球をA, B, 青球をC, D, Eとして樹形図をかくと

右のようになる。すべての場合の数は10通り、

赤球と青球が1個ずつ出る場合は6通りなので、確率は  $\frac{6}{10} = \frac{3}{5}$



(2) 青球が2個出る確率

青球が2個出る場合は3通りなので、確率は  $\frac{3}{10}$

(3) 赤球が少なくとも1個出る確率

(2)の結果を用いると、求める確率は  $1 - \frac{3}{10} = \frac{7}{10}$

答え(1)  $\frac{3}{5}$  (2)  $\frac{3}{10}$  (3)  $\frac{7}{10}$